

名古屋港高潮防波堤の防護機能と沈下対策について

菊地洋二*・廣瀬紀一**・佐藤 誠***・横田 勉****

* (財) 沿岸技術研究センター 調査役

** (財) 沿岸技術研究センター 調査部 主任研究員

*** 国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 工務課長

**** 国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 沿岸防災対策官

概要

名古屋港高潮防波堤は、伊勢湾台風来襲後に高潮防護施設として築造され、伊勢湾台風から 50 年を経過する現在においても、伊勢湾台風級の大型台風に対する防護機能を果たしている。しかしながら、堤外地である埋立地における高潮防護効果や発生が予想される東南海・東海地震による高潮防波堤の沈下が懸念されている。これらに対する高潮防波堤の防護機能を新たに検証するとともに、地震による沈下に対応できる対策を検討し、今後の高潮防波堤のあり方・方向性について検討した。

キーワード: 高潮防波堤, 高潮浸水シミュレーション, 地震沈下対策, 嵩上げ

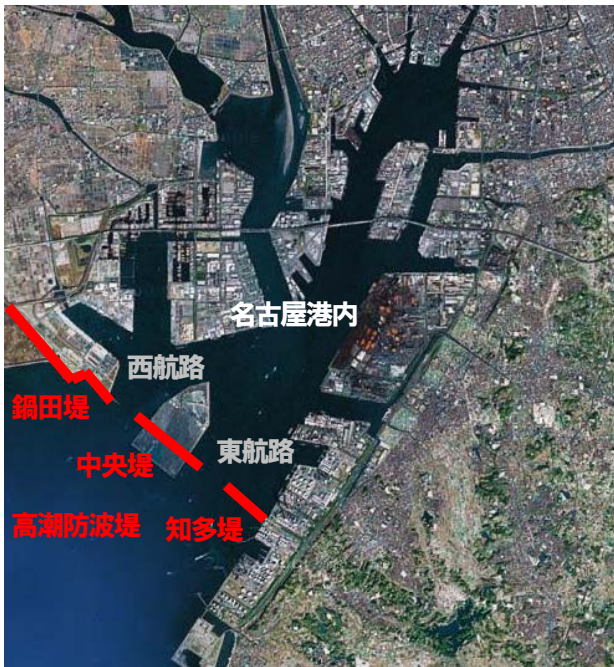


図-1 名古屋港と高潮防波堤の位置

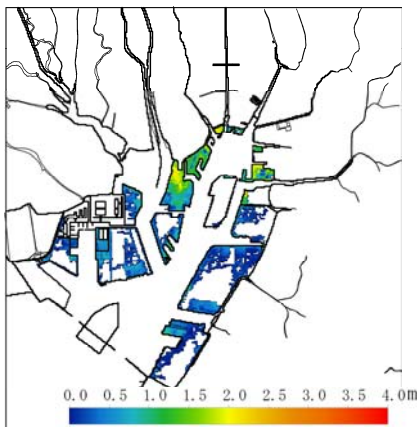


図-2 堤外地の最大浸水深 (ケース1)

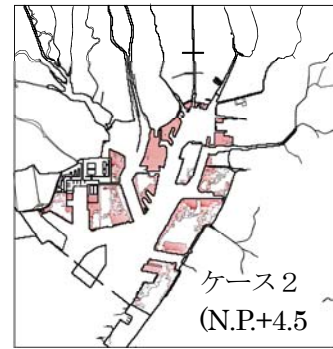


図-3 名古屋港内の最大潮位 (ケース2)

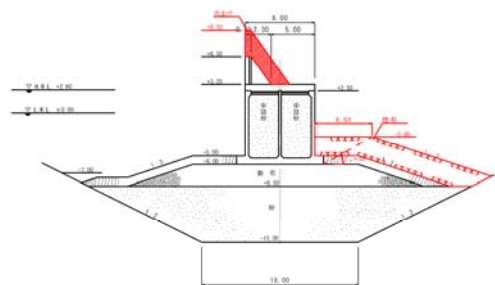


図-4 沈下を前提にした方法 (事前嵩上げ対策例)

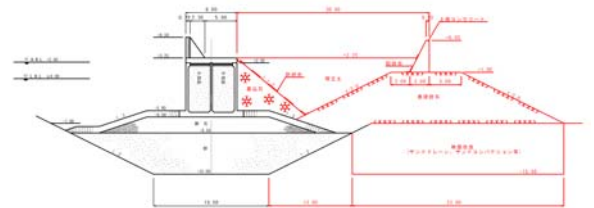


図-5 高潮防波堤の改良による方法 (幅広堤の例)